

# ● 平常時の心得

## 天気予報や気象状況に気をつける



梅雨期、台風シーズンなど、洪水が起こりやすい時期には、テレビ・ラジオ・新聞の天気予報に注意し、天気の移り変わりに気をつけましょう。

## 避難場所や避難路を確認しておく



この地図には、洪水時に避難する場所が示されています。  
自分の地区の避難場所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。

## 非常食や持ち出すものなどを準備しておく



非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないもの（レトルト食品や缶詰など）を選びます。  
また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。

## 一人暮らしのお年寄りなどには気配りを



自分の家族や住みだけでなく、地域全体にも目を向けましょう。  
特に、一人暮らしのお年寄りや病気の人たちには、普段からの気配りが必要です。

## 大雨や台風に備えて、家のまわりを点検・整備しておく



家のまわりに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨どいなどは痛んでいないか確認しておきましょう。  
また、家の周囲の排水溝が詰まっていないかなどの確認も必要です。

- 家族みんなで、この避難地図に避難場所への経路を書き込みましょう。
- 家族の集合場所を決めておきましょう。
- 災害時の緊急連絡先は必ず連絡がとれる場所にしましょう。
- 上記の内容を記載した家族の携帯防災カード等を作りましょう。